

極東開発グループ

2023年3月期 決算説明資料



極東開発工業株式会社

特装車事業

84.8%

■ 製造・販売

(グループ会社) 国内2社

海外4社: 中国、インド、インドネシア

■ サービス・中古車販売

(グループ会社) 国内3社

■ 調達

(グループ会社) 海外1社: 中国

環境事業

9.1%

■ リサイクル施設の建設

■ 運転受託・メンテナンス

(グループ会社) 国内5社

パーキング等事業

6.1%

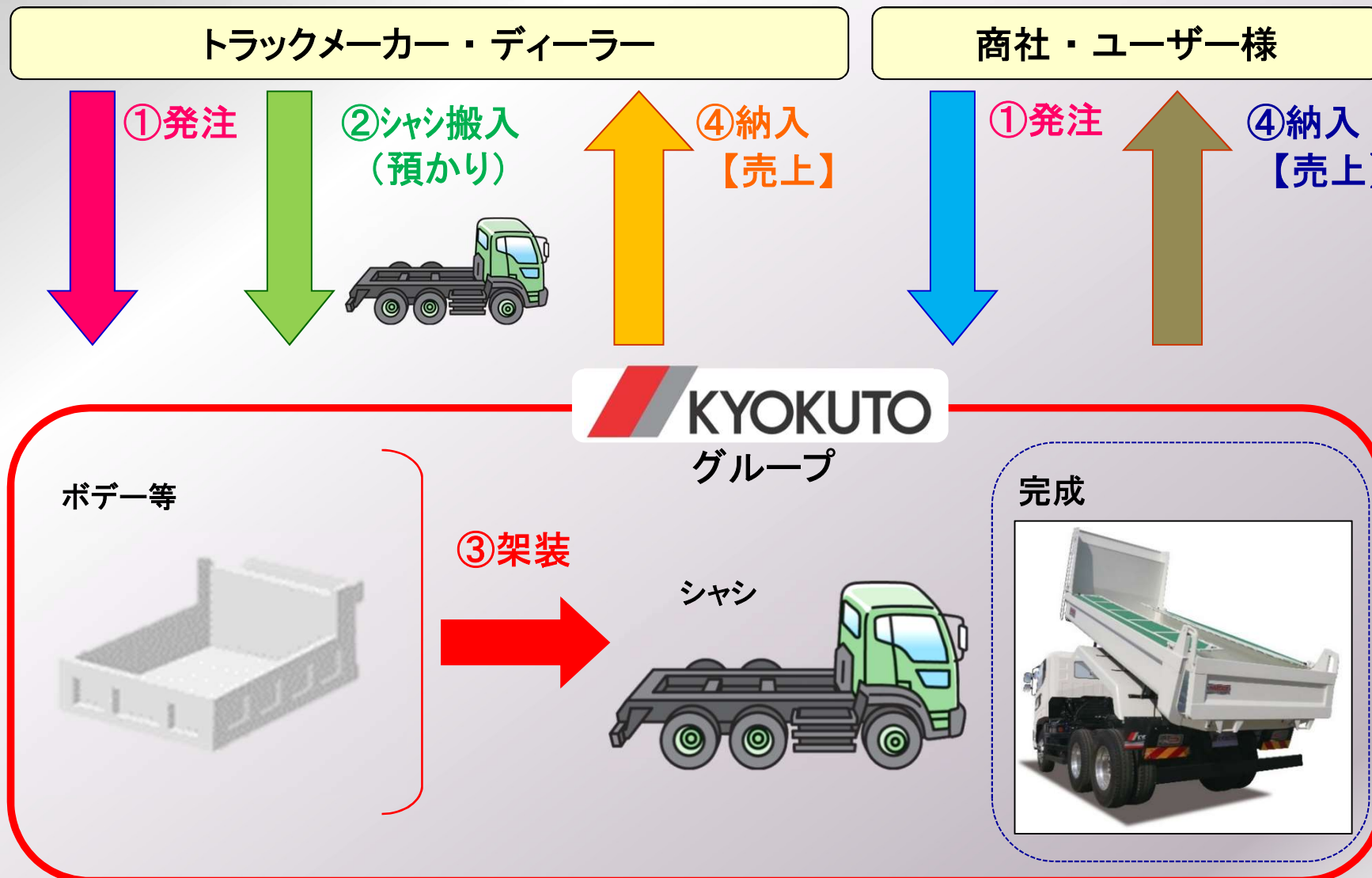
■ 立体駐車装置、コインパーキング

(グループ会社) 国内3社

計19社

※2023年3月末 18社

特装車事業



※コンクリートポンプ車等一部の製品についてはシャシは買取。

グループ主力製品



赤字: シェア1位製品
青字: シェア2位製品



コンクリートポンプ車



粉粒体運搬



トレーラ



1台積車輛運搬車



タンクローリ・散水車



テールゲートリフタ



ダンプトラック



脱着ボデー車



ごみ収集車



ウイングボデー車

国内生産体制



三木工場(兵庫県三木市)



- コンクリートポンプ車
- ごみ収集車
- タンクローリ
- 機能部品の内製

名古屋工場(愛知県小牧市)



- ダンプトラック
- 粉粒体運搬車
- テールゲートリフト
- 散水車、タンクローリ

福岡工場(福岡県飯塚市)



- ダンプトラック
- バン

横浜工場(神奈川県大和市)



- ダンプトラック
- 脱着ホデー車
- 1台積車輛運搬車

本社事業所(愛知県豊川市)



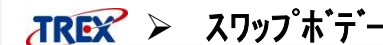
- トレーラ
- バン

音羽事業所(愛知県豊川市)



- ウイングホデー

御津事業所(愛知県豊川市)



- スワップホデー



海外生産体制

インド工場（グループ化：2020年9月）



- ダンプトラック
- トレーラ
- タンクローリ

昆山工場（操業開始：2005年4月）

极东开发(昆山)机械有限公司



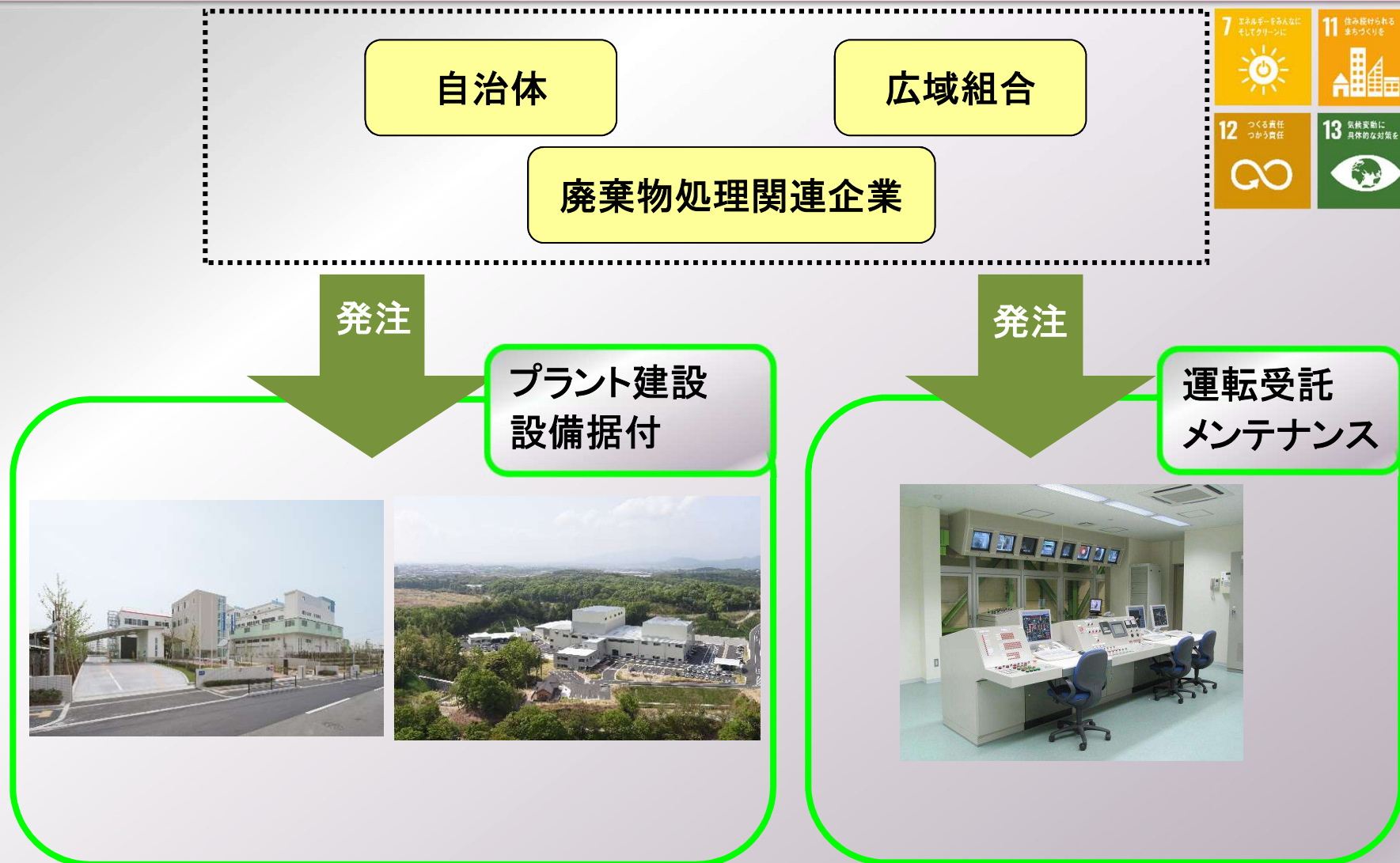
- ミキサートラック

インドネシア工場（操業開始：2014年2月）

PT KYOKUTO INDOMOBIL MANUFACTURING INDONESIA



- ダンプトラック
- ミキサートラック
- テールゲートリフト



パーキング等事業



【立体駐車装置】

ゼネコン

デベロッパー

マンション管理組合

発注

立体駐車装置の製造



発注

メンテナンス
リニューアル

【時間貸駐車場】

土地オーナー

利用者

賃貸

土地賃貸料

P.ZONE®



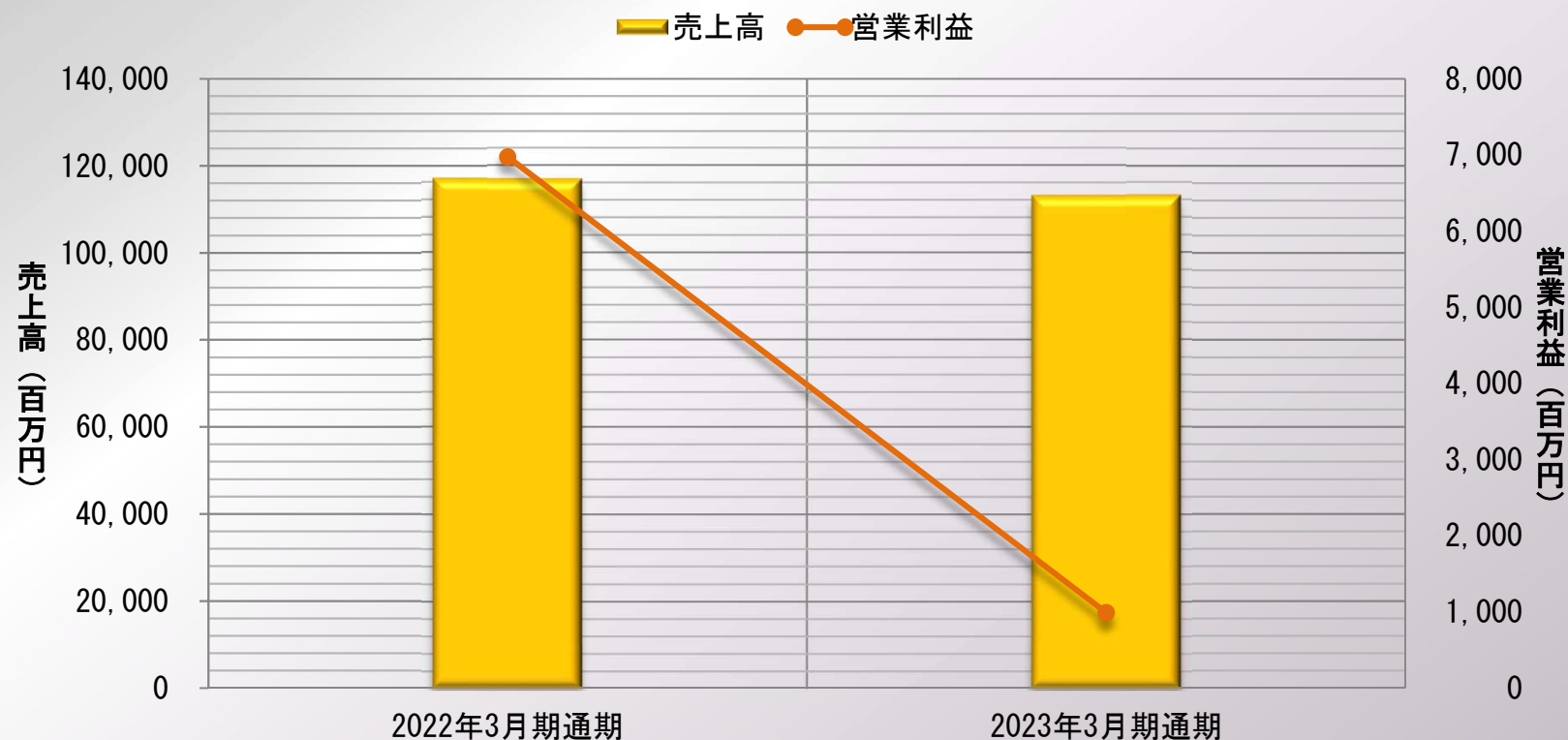
利用料【売上】

※コインパーキング用地は
自社保有ではありません。

2023年3月期 連結決算実績

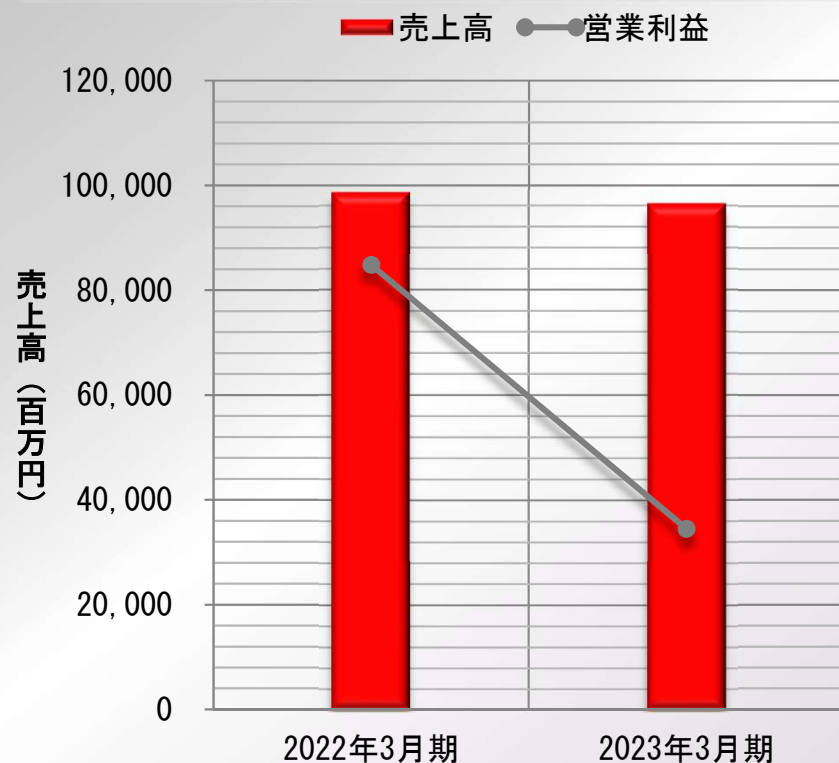


2023年3月期 連結決算



決算期 百万円	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期実績	前年比	
売上高	116,910	113,089	△3,821	△3.3%
営業利益	6,974	991	△5,983	△85.8%
経常利益	7,567	1,187	△6,380	△84.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,274	3,581	△10,693	△74.9%

2023年3月期 特装車事業



売上高

半導体不足等に伴う国内トラックシャシの供給制限により生産が停滞

海外事業(インド、インドネシア)が好調

営業利益

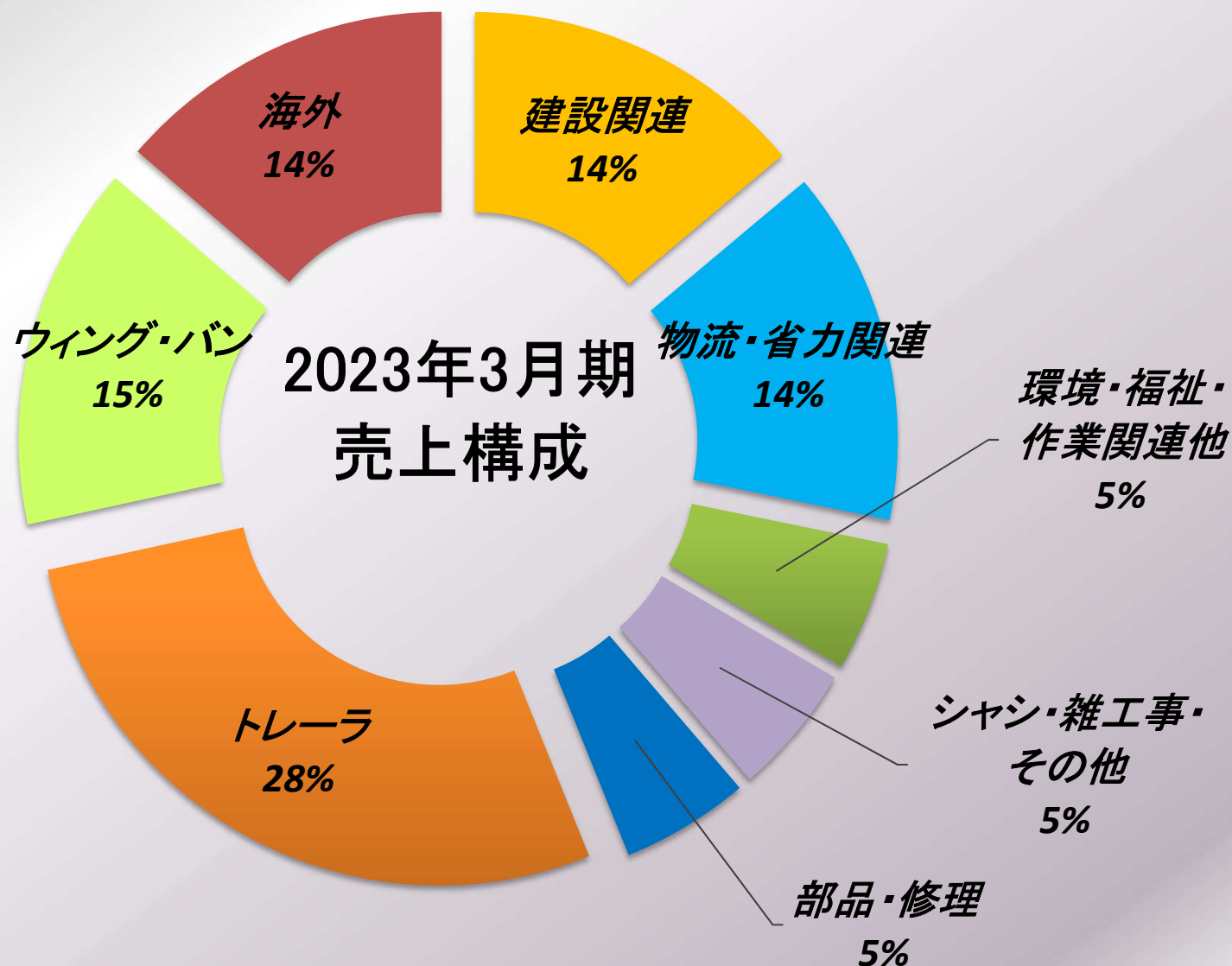
原材料・エネルギー価格の高騰

製品の価格改定(値上げ)

設備投資の強化により生産の効率化

海外売上の増加

決算期 百万円	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前期比	
売上高	98,571	96,447	△2,124	△2.2%
営業利益	4,481	△ 555	△5,036	-



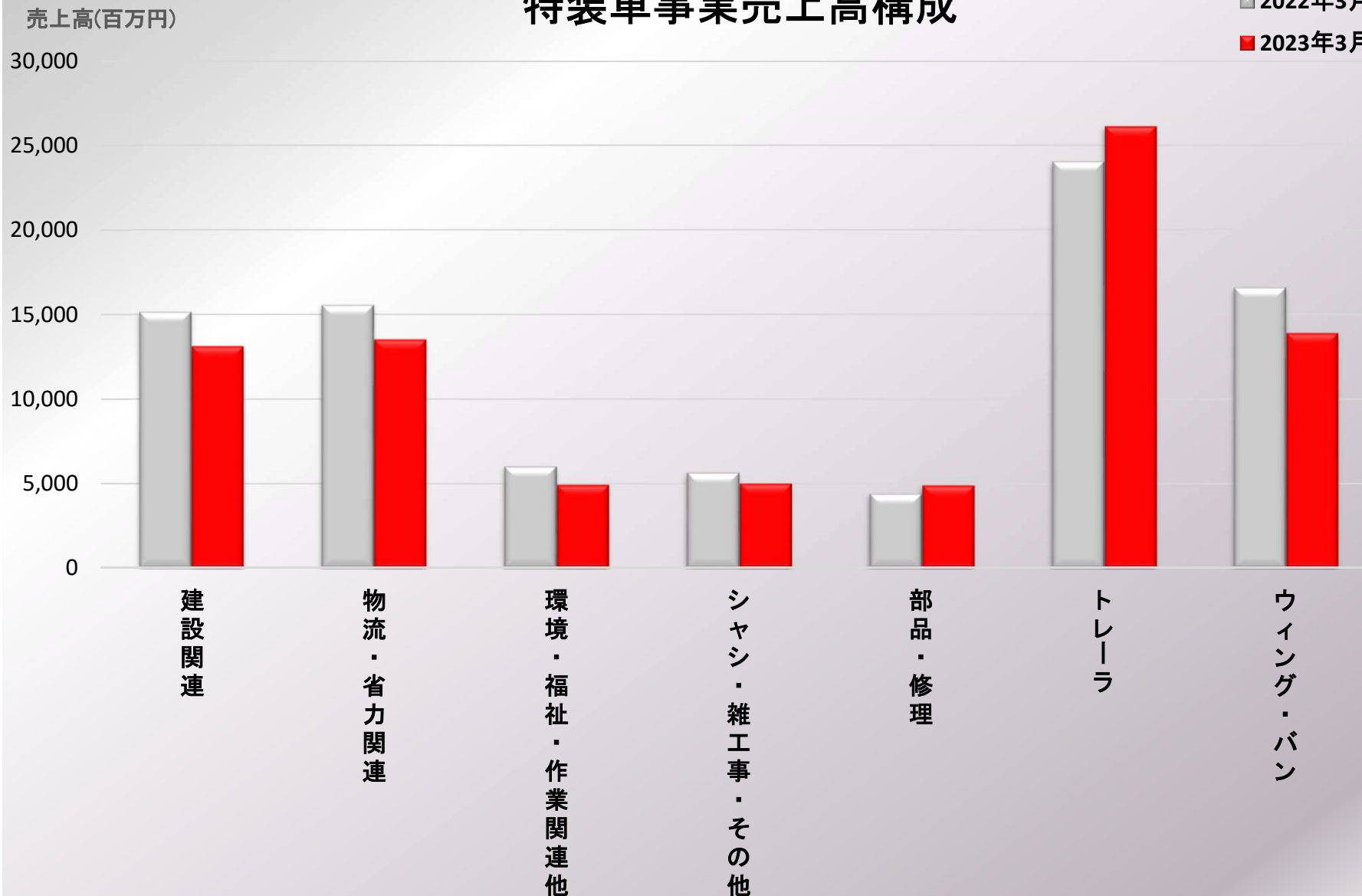
2023年3月期 特装車事業



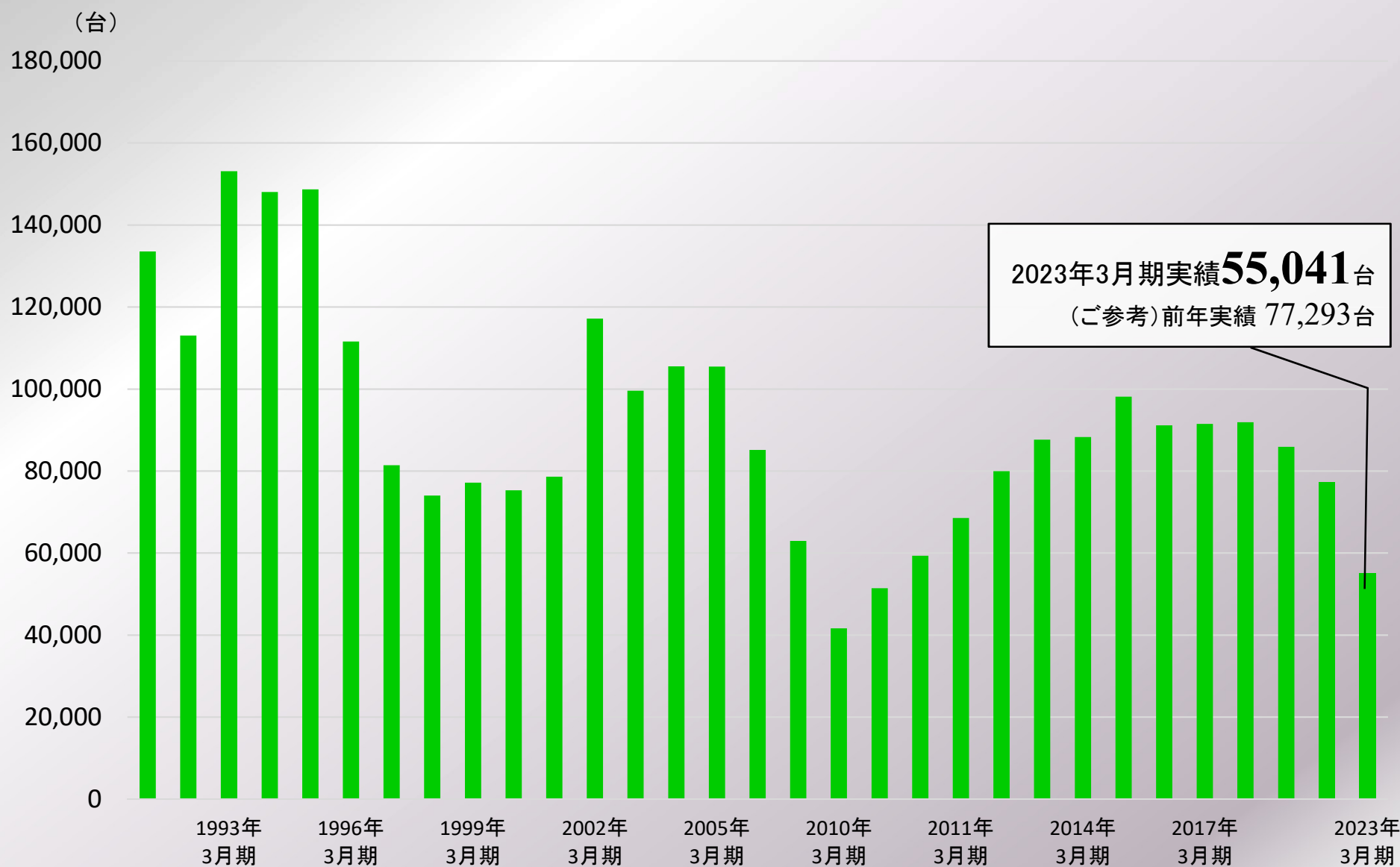
特装車事業売上高構成

■ 2022年3月期

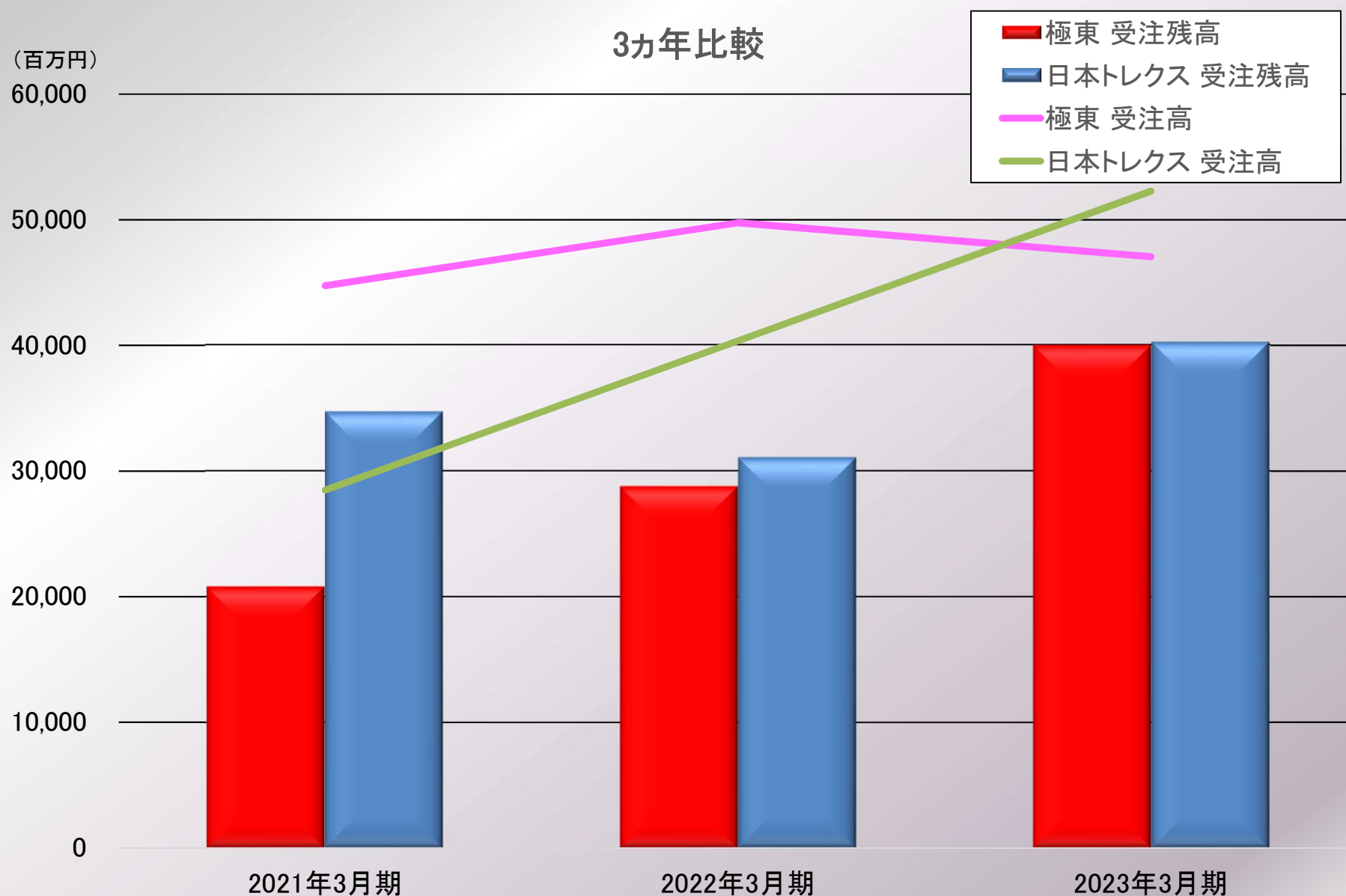
■ 2023年3月期



国内市場 普通トラック登録台数推移



受注高と受注残高



2023年3月期 環境事業



3,000

売上高

プラントの竣工が端境期のため全体では減収 ※2024年3月期は回復予定

営業利益
(百万円)

メンテナンス・運転受託は引き続き堅調

営業利益

プラント売上の減少のため全体では減益

メンテナンス・運転受託は引き続き堅調

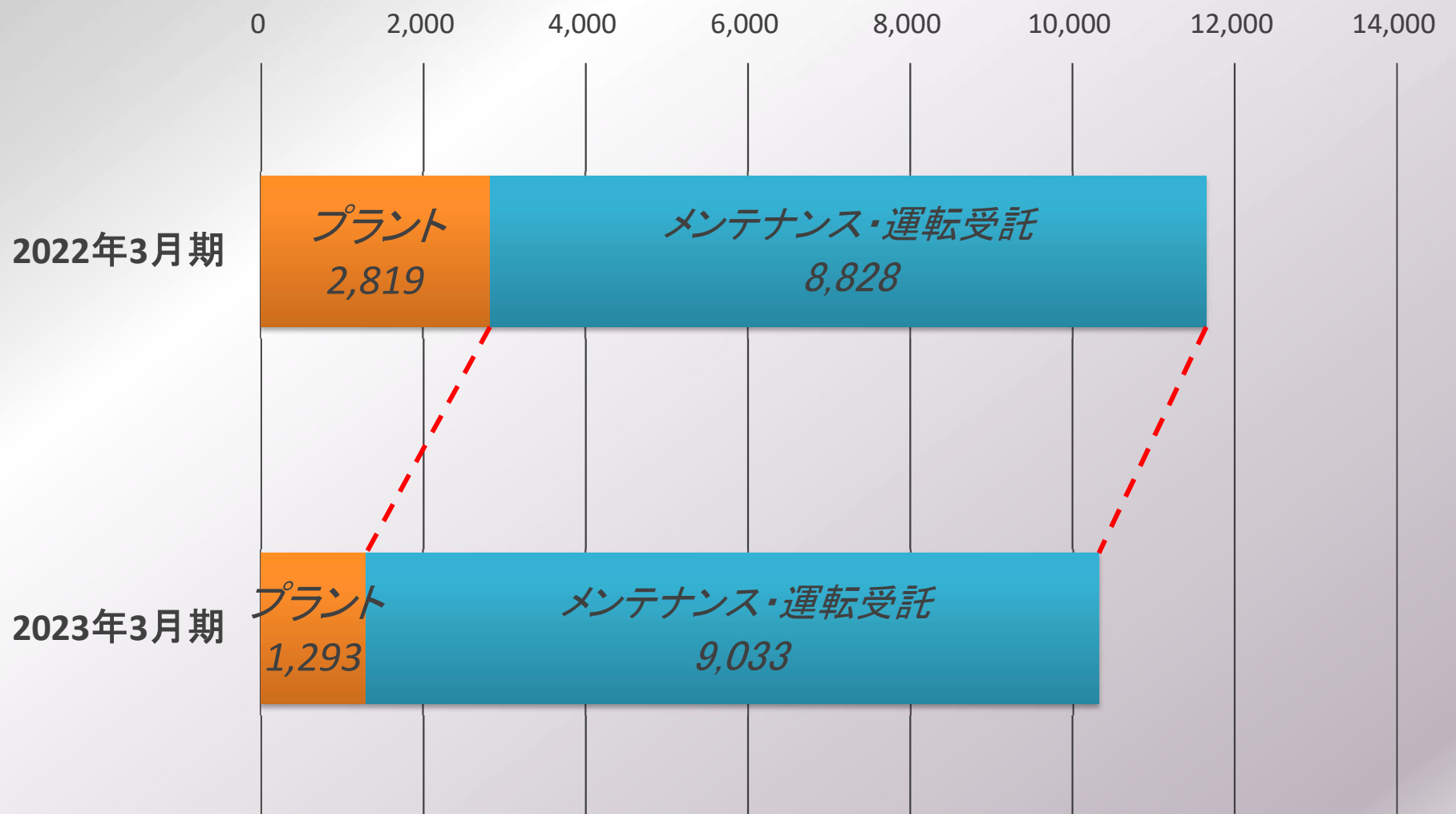
決算期 百万円	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前期比	
売上高	11,647	10,327	△1,320	△11.3%
営業利益	2,098	1,768	△330	△15.7%

2023年3月期 環境事業

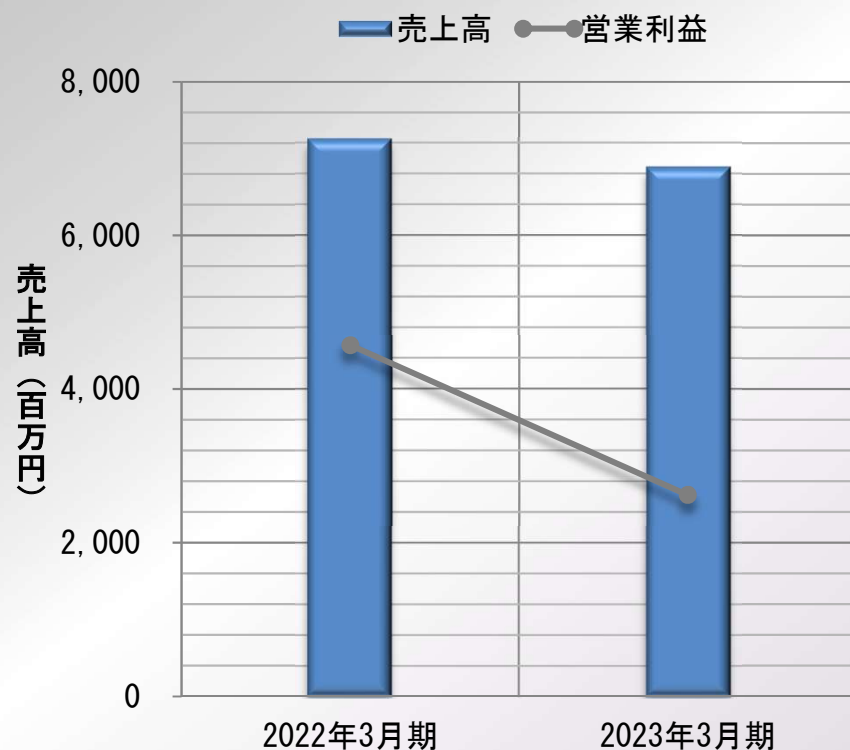


売上高比較

売上高(百万円)



2023年3月期 パーキング等事業



- 売上高**
 経営資源集約・資本効率強化のため
 賃貸不動産(東京都西多摩郡)を売却
 ※売上高 △7億円
 ※セグメント名改称
 (不動産賃貸等→パーキング等)
- 営業利益**
 賃貸不動産を売却
 ※営業利益△4.5億円
- パーキング(立体駐車場
 +コインパーキング)は増加
- パーキング(立体駐車場
 +コインパーキング)は増加

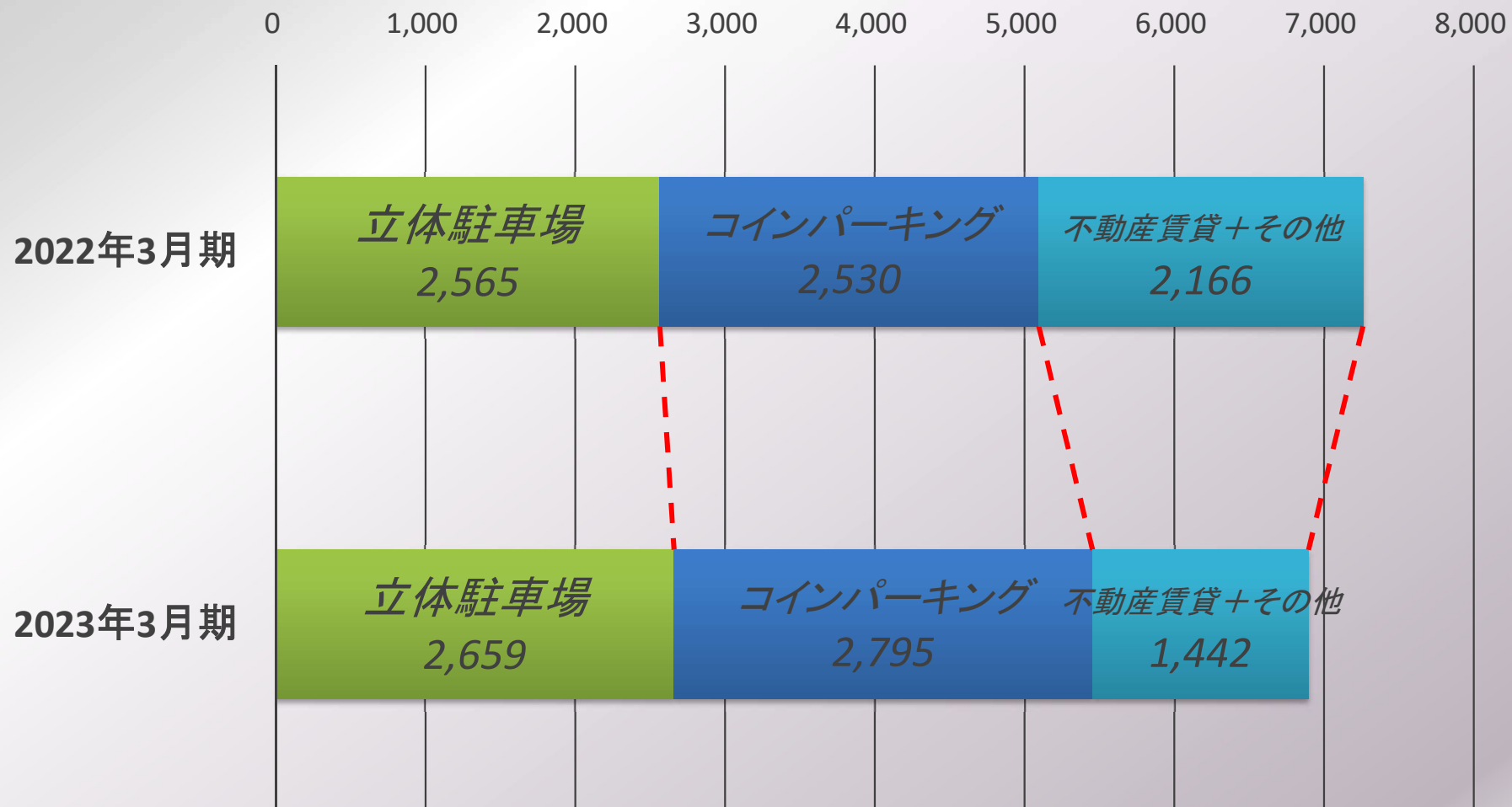
決算期 百万円	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前期比	
売上高	7,261	6,895	△366	△5.0%
営業利益	1,143	656	△487	△42.5%

2023年3月期 パーキング等事業



売上高比較

売上高(百万円)



資本政策等：株主還元



- 配当 1株当たり年間配当金額54円を下限
2022年3月期実績を基準とした安定的な配当を継続
- 総還元性向50%(2025年3月期)

2023年3月期年間配当金額(円)

第2四半期	期末	合計	配当性向
27円	27円	54円	59.0 %

自己株式の取得

取得日	取得した株式の総数	買付総額	総還元性向 (配当+自己株取得)
2022年7月1日～ 2023年3月31日	1,707,900株	2,379,140,182円	125.5 %

(ご参考) 自己株式の取得に関する2022 年6 月6 日開催の取締役会の決議内容：

株式の総数 200 万株(上限)、(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 5.0%)、総額 25 億円(上限)、期間 2022 年7 月1 日～2023 年6 月30 日

自己株式の消却

実施日	消却した株式の数	消却後の発行済 株式総数	自己株式比率
2023年3月20日	2,587,668 株 (消却前の発行済株式総数に 対する割合 6.05%)	40,150,000 株	4.55 % (消却後の自己株式数 1,825,291株)

100億円の借入を実施

有利子負債による資本効率の改善
WACC及び自己資本比率の改善を狙った

政策保有株式の縮減

2023年3月期は、**4銘柄**、約**19億円**分売却

(2018年3月期から、累計**27.7%** 時価総額にして約**39億**分売却)

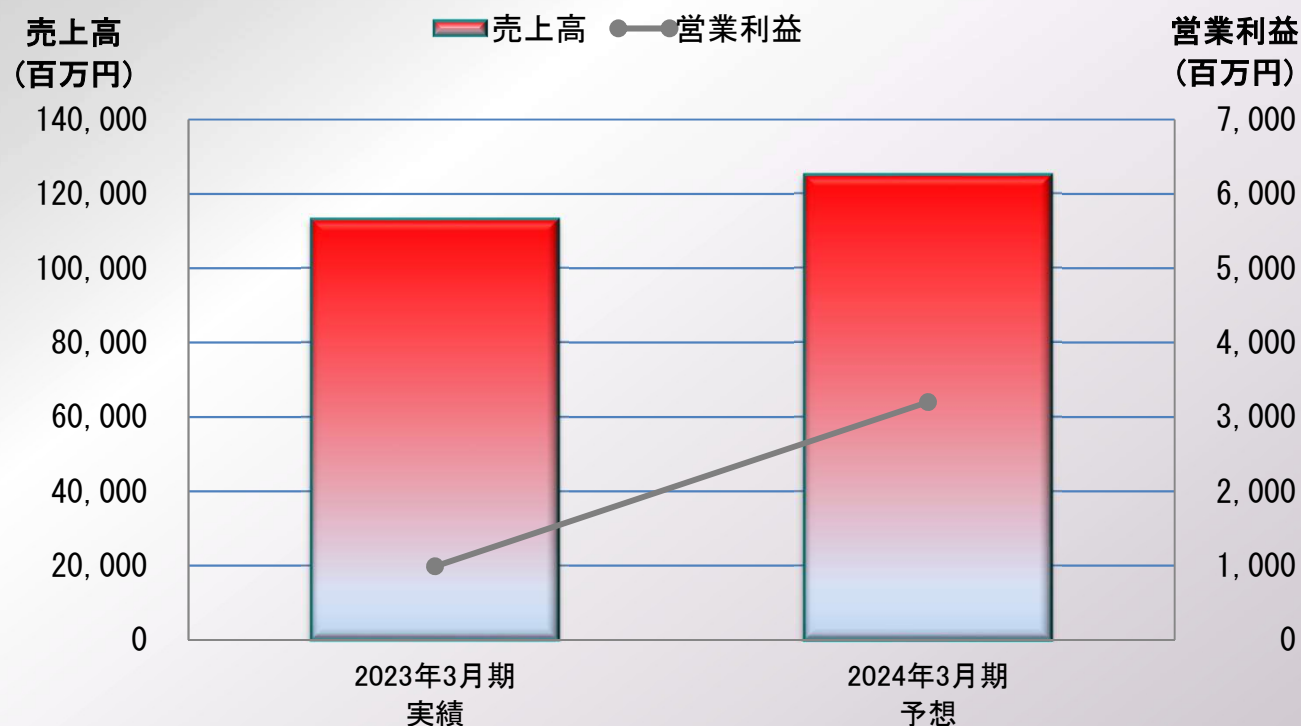
役員及び従業員向け譲渡制限付株式報酬
(自己株式の処分)

経営層と一般従業員が中計の達成や企業価値向上にベクトルを合わせ、
株価に対する意識付けや株主の皆様と価値共有を狙う
(役員 21,200株、従業員 61,640株)

2024年3月期 連結業績予想



2024年3月期 連結業績予想



決算期 百万円	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	前期比	
売上高	113,089	125,000	+11,911	+10.5%
営業利益	991	3,200	+2,209	+222.9%
経常利益	1,187	3,500	+2,313	+194.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,580	2,200	△1,380	△38.5%

2024年3月期 セグメント別予想



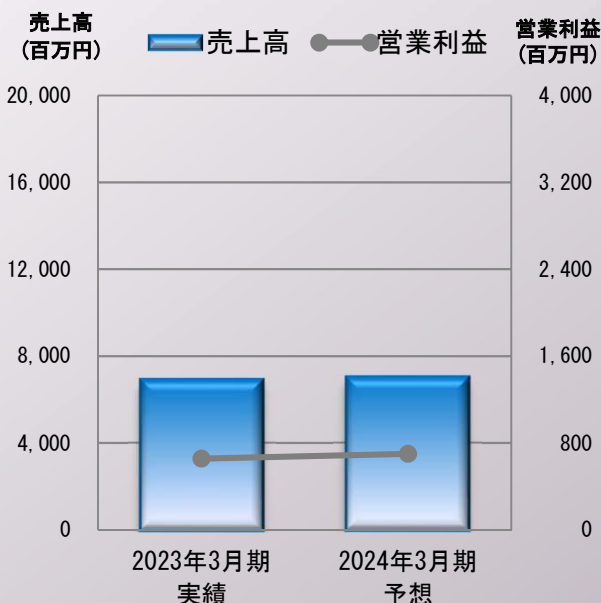
特装車事業



環境事業



パーキング等事業



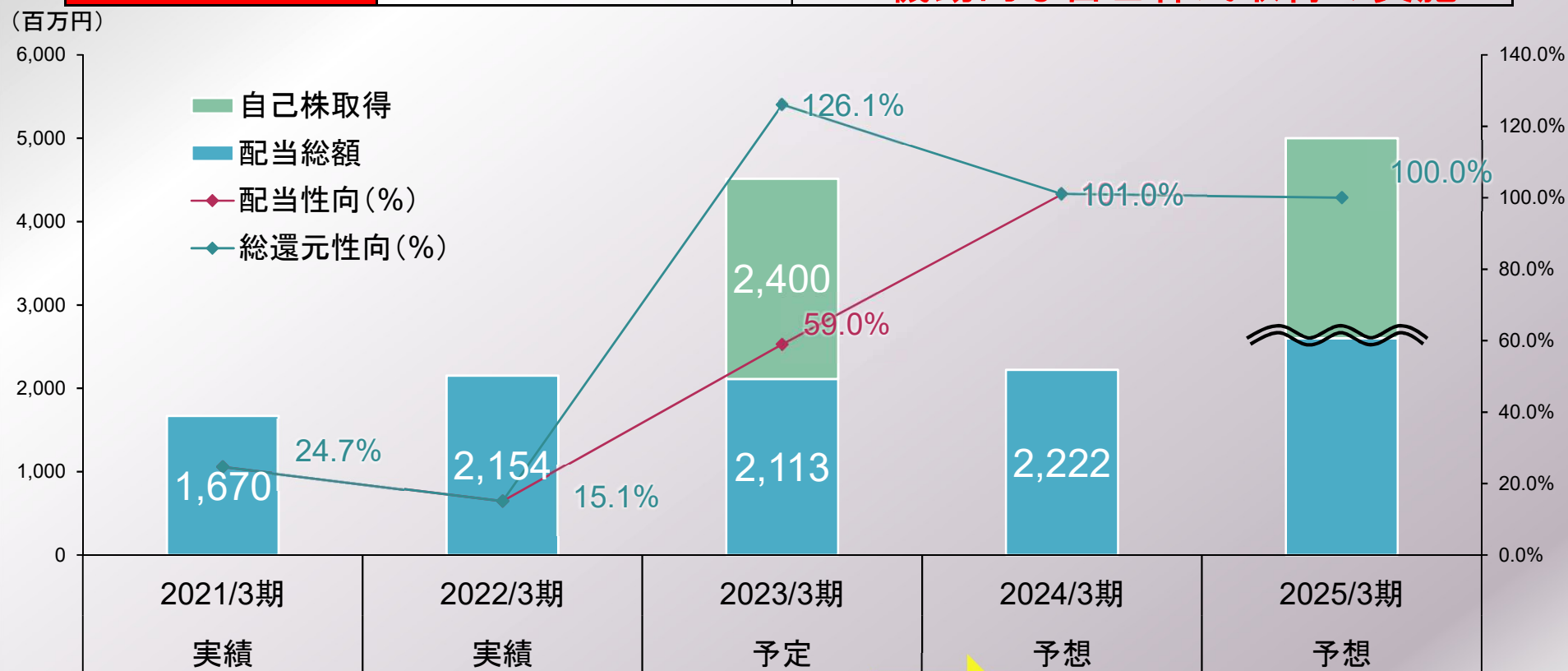
決算期		2023年3月期実績	2024年3月期予想	前期比	
百万円					
特装車事業	売上高	96,447	105,000	+8,553	+8.9%
	営業利益	△ 555	1,700	+2,255	—
環境事業	売上高	10,327	13,500	+3,173	+30.7%
	営業利益	1,768	1,900	+132	+7.5%
パーキング等事業	売上高	6,895	7,000	+105	+1.5%
	営業利益	656	700	+44	+6.7%
調整額	売上高	△ 581	△ 500	+81	—
	営業利益	△ 877	△ 1,100	△ 223	—

株主還元強化



本中計の株主還元に関する方針の修正

	修正前	修正後
総還元性向	50% (中計最終年度)	100% (中計期間中)
年間配当額	1株当たり下限54円	1株当たり下限54円 +機動的な自己株式取得の実施



年間配当額 42 54 54 増配 58 下限54円

※2024/3期は株主配当のみで100%を達成する見込み。
自己株式取得は状況を見て判断。

中計目標値 追加開示・一部修正



中期経営計画期間最終年度(2025年3月期)の指標

【中期経営計画 2022-24 ～Creating The Future As One～】

連結営業利益率 7%以上

当初より経済情勢及び市場動向が悪化したことに伴い、見直し(当初目標値 9%以上)

ROE 6%

現長期経営ビジョン最終年度(2030年度)目標値

前倒しでの早期実現を目指す

連結営業利益率 10%以上

ROE 10%

資本コストを意識し、WACC(加重平均資本コスト)を開示

【2023年3月末】

WACC 約6%と推定 (内、株主資本コスト 約7%と推定)

日本トレクス 本社新工場を建設



グループ会社である日本トレクス株式会社は、主力製品であるトレーラ生産の新工場を本社内に建設。投資額は約**40**億円で、完成は**2024年5月**を予定
作業環境の改善

トレーラの溶接と塗装を一貫ライン
重要工程をロボット化



高所作業を低減し、安全な作業環境を構築
生産能力が現行比で約**40%**向上

環境への配慮

部品塗装で発生する揮発性有機化合物
太陽光発電の設置



年間約**6.3t** 低減

CO2排出量 年間約**3.2t** 削減



新工場イメージ

特装車のサービス体制強化(M&A)



グループ会社のエフ・イ・オートは、九州地域の指定サービス工場である福岡県の九州特殊モータースの全株式を取得し、**グループ会社化** (2023年4月完了)



九州エリアにおける直営サービス工場として製品力向上に基づく
販売促進・シェア向上やサービス力強化など
グループ間シナジーを最大に発揮し既存事業の強化・発展を目指す

【概要】

会社名	株式会社九州特殊モータース
事業内容	特殊車両の整備、関連部品販売
所在地	福岡県福岡市博多区井相田2丁目4-30
代表	吉田 栄一郎
設立	1968年1月
事業所	2拠点 本社(福岡工場)、筑豊工場



本社(福岡工場)

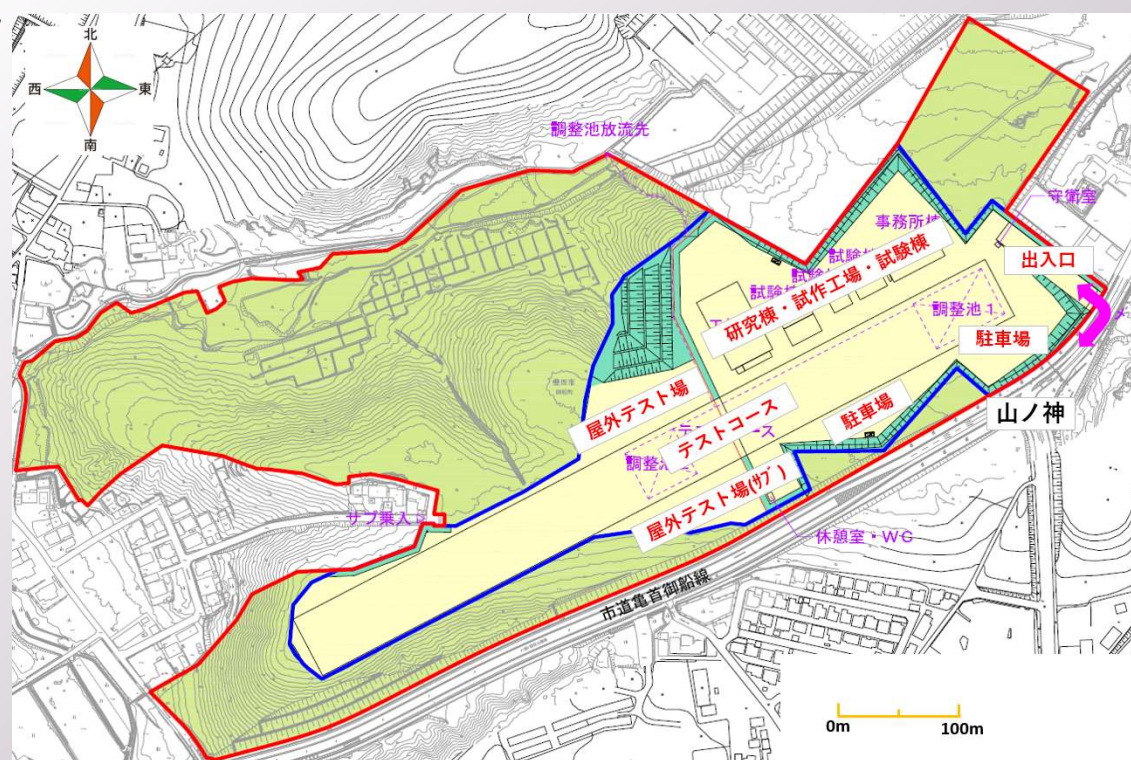
研究開発体制の強化



当社グループ研究開発拠点(テクニカルセンター)の建設計画を推進

1. IoT・AI等の新技術の研究・開発
2. グループ間の連携体制構築
3. 新製品開発の迅速化
4. 製品品質の向上

**2026年度
完成予定**



**カーボンニュートラルに向けた社会的変革に
対応する研究開発体制の強化**

海外事業の強化



インドSATRAC社及びインドネシアのグループ会社が好調

海外事業 売上高 2022年3月期 6,600百万円

2023年3月期 10,347百万円 増加率 +57%

海外売上比率 (同) 6.7%→**10.7%**に向上



製品TOPICS



TOPICS① 計量装置付き「スケールダンプ」を開発

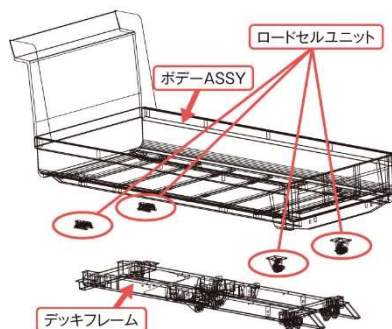
大煌工業株式会社、極東開発工業株式会社、大林道路株式会社の3社は、新たにシャフト式ロードセル(計量装置)を搭載した新型「スケールダンプ」を開発しました。発売は2023年春頃を予定しております。

特 徴

- 1.計量精度**1%以下**(平地・停車状態)の超高精度
※極東開発調べ
- 2.**重心のズレにも対応**した積載量の正確な計測
- 3.標準車と同等の車両全高
- 4.簡単操作による**瞬時計量**と視認性の高い表示
- 5.過積載防止や輸送効率向上など**環境への配慮**



↑ロードセル配置イメージ
→ロードセルボデー一体構造図



計量装置付きダンプトラック 新型「スケールダンプ」
(10t大型リヤダンプトラック耐摩耗鋼板(HARDOX)仕様・オプション装着車)

大煌工業・極東開発・大林道路の各社グループでは、社会インフラを支えるべく、安全と信頼をキーワードとした事業活動と製品開発を積極的に進める

TOPICS② パワーゲート®の利便性に更なる安全と安心をプラス！

早朝・夜間や暗い場所での安全・安心な作業をサポートする

「LEDプラットホームランプ」および「LED上昇完了ランプ」を新たに設定し、発売しました。

特 長

【LEDプラットホームランプ】

パワーゲートの下降時にプラットホームを照射

➡ 作業する方の足元の安全性向上

上昇時には地面を照射

➡ 周囲にパワーゲートが作動していることの注意喚起を促す

【LED上昇完了ランプ】

プラットホームがボデー床面と同一高さまで上昇すると
取り付けられたランプが点灯

➡ 荷役作業の安全性向上に貢献

「LEDプラットホームランプ」
(CG型装着例・別途オプション装着車)



「LED上昇完了ランプ」
(G型装着例・別途オプション装着車)



▶ 極東開発グループでは、今後もお客様のニーズに沿った
製品ラインナップを展開することで、特装車事業の強化を実施



本資料の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。
本資料の著作権は極東開発工業株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く
本資料を複製・配布することを禁止します。



極東開発グループは持続可能な
開発目標（SDGs）を支援しています。